

平成29年度 社会福祉法人さつき会サービス向上発表会

発表申込書

【発表テーマ】

地域で暮らし続けるために～地域ケア会議を通して～

【発表者】

- ・事業所名： 鷹栖町介護センターさつき苑
- ・職名又は職種： 介護支援専門員
- ・氏名： 坂林 美幸

【発表の概要】

1. 取り組んだ課題（理由）又は取り組んだきっかけ

家族から包括支援センターに在宅での生活が困難になっているから施設入所させたいと相談があった。本人は認知症で独居生活を送っているが、地域での活動にも参加している。また、本人は施設に入居することは望んでいない。施設ではなく、たかほに入居することで本人の生活を支えられるのではないかと取り組んだ。また、この事例を通して地域ケア会議のケース検討の可視化（見える化）を図りたいと考えた。

2. 具体的な取り組み内容

認知症カンファレンスシートやホワイトボードを使い、事業所や法人内でカンファレンスの実施。ほしい情報や足りない情報を地域ケア会議で経過と共に報告。誰がどのように動くか包括支援センターや社会福祉協議会と役割を分担した。たかほとつながりをたかほの生活相談員や管理栄養士の協力を得て、地域食堂やフィットネスなど通して「いつ来ても大丈夫」という環境作りをした。

3. 取り組みの結果と評価

家族の施設入所という希望が、本人の意思でたかほに入居することになった。たかほという存在（社会資源）があったからこそ、本人の生活や今までの人間関係を変えることなく地域で暮らすことが継続できたことは、さつき会の法人の使命にも値するのではないか。

4. 今後の課題又は展望

居宅の相談ケースでも、老々介護・虐待・経済的困窮・育児と介護のダブルケア・障害者支援など問題が多様化してきている。地域ケア会議で情報共有やケース検討することで解決できることや連携を図ることもできるので、今後も問題があれば積極的に地域ケア会議を活用していくようにしていきたい。また、口頭や紙面では上手く伝えられないこともホワイトボードやジェノグラムやエコマップを用いることで可視化（見える化）できるよう心がけていきたい。